

2019年度事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日まで)

－ はじめに －

2019年度の概況

2019年度の助成事業については、音楽分野・地域の伝統文化分野とも多数の応募者を確保し、引き続き高水準の助成を行なっているところである。

音楽分野においては、5月27日に開催された第1回理事会において決定した内容に基づいて、助成対象者（海外音楽研修生4名および国内音楽学生11名）に結果通知を行なうとともに、海外音楽研修生を対象として7月10日に明治安田生命新宿ビルにおいて助成金目録贈呈式を実施した。

地域の伝統文化分野においては、2018年度第3回理事会（3月12日開催）において決定した内容に基づいて、助成先42件について明治安田生命の最寄りの支社に依頼し、5月から7月にかけて全国36会場でそれぞれ助成金目録贈呈式を開催した。当財団からは、事務局長が山梨県甲府市、茨城県古河市で開催された助成金目録贈呈式に参加した。

役員等の人事については、5月27日に開催された第1回理事会において、専務理事に壁谷章可氏が選定され、6月17日に開催された定時評議員会において、浅野芳一監事の辞任を受けて白井道昭氏が監事に選任された。また、12月31日付で前田晃伸評議員が辞任することとなった。

主務官庁である内閣府への届出等については、2018年度事業報告等を2019年6月26日付、監事・評議員の変更の届出を2020年1月22日付、2020年度事業計画等の届出を2020年3月27日付で行なった。また、2020年2月3日に内閣府の立入検査を受けたが、書面による指摘事項はなかった。

基本財産の運用に関しては、償還を迎えた債券は、計画どおりにすべて元本毀損リスクの少ない債券に再投資した。2019年度の基本財産運用益は、予算34,747千円に対し、実績35,217千円となり、予算を470千円上回った。

業務運営面では、法令等遵守態勢の整備・確立およびリスク管理の整備・充実に図るため「システムリスク管理規程」「情報管理細則」等を改正した。さらに、規程に合わせた個人情報の管理・保管の徹底と保管期間を超えた個人情報の廃棄を徹底するために、日常のシュレッダーによる廃棄に加え、6月、2月の「シークルボックスの一斉廃棄日」を有効活用した。また、法令遵守・リスク管理・情報保護推進委員会を計5回開催し、財団事務局内のコンプライアンス、リスク管理態勢の高度化に努めた。人権研修についても、8月28日、10月18日にそれぞれの研修テーマで実施した。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成 ～若手音楽家の人材育成に対する助成～

本分野については、前年に引き続きクラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に関し、次の助成を行なった。

- ・海外における音楽研修に対する留学費用助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金援助
- ・日本音楽コンクールに対する助成

(1) 海外における音楽研修生に対する助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家を目指して研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を練磨するとともにその実体験を通じてさらに研鑽を深めることを期待して、留学に必要な費用の支援を行なう。

② 助成金額

留学受け入れ先の入学決定を条件に、年額200万円(最長2年間)を助成する。

③ 公募関係

- ・公募時期：2019年1月4日～4月5日
- ・告知の方法：音楽専門大学宛案内（31校）、演奏家団体（53団体）および音楽指導者宛案内（343名）
「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミ宛ニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

・応募数

年度	応募数
2019	64名
2018	61名

・応募者の情報入手経路の割合（複数回答を含む）

年度	過去申込者	学内掲示	知友人	指導者	音楽情報誌等	インターネット
2019	5.8%	13.0%	10.1%	10.1%	5.8%	55.1%
2018	7.1%	24.3%	5.7%	11.4%	1.4%	50.0%

④ 選考経過

- ・4月24日開催の1次選考委員会（書類および録音資料審査、審査会場：明治安田生命新宿ビル3階）で、1次審査通過者として16名を選出。
- ・5月22日開催の2次選考委員会（実技・面接審査、審査会場：東京オペラシティリサイタルホール）で4名の助成対象候補者を選定。その他に国内音楽学生奨学金受給候補者11名を選出。
- ・5月27日開催の第1回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2019年度の助成実行状況

- ・海外研修生費用助成の対象者に対しては、7月10日に明治安田生命新宿ビルにおいて助成金目録の贈呈を行なった。ただし、助成金は助成目的事由が確定（海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出）した後に支給。

・ 2019年度助成対象決定者 4名 助成決定額 1,600万円 (敬称略)

氏 名	専 攻	助成期間	研 修 先
略 歴			
山田 花織	声楽(ソプラノ)	2 年	クラウディオ・アバド・ミラノ市立音楽院 (イタリア・ミラノ)
東京藝術大学大学院修士課程独唱科			
秋元 孝介	ピアノ	2 年	ミュンヘン音楽・演劇大学 (ドイツ・ミュンヘン)
ザルツブルク・モーツァルテウム大学在			
小川 恭子	ヴァイオリン	2 年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学 (オーストリア・ザルツブルク)
ベルリン芸術大学大学院在			
田原 綾子	ヴィオラ	2 年	デトモルト音楽大学 (ドイツ・デトモルト)
ミュンヘン音楽・演劇大学在			

・ 2019年度助成実行状況 合計 12名

助成額合計 1300万円 未払助成金合計 1,700万円

a. 2016年度助成対象者5名のうち1名

助成額合計 100万円 未払助成金合計 0万円 (敬称略)

氏 名	専 攻	期 間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
鈴木 玲奈	声楽	2年	ブライト音楽院	9月(100)	0
川口 成彦	フォルテピアノ	1年	アムステルダム音楽院		0
上野 明子	ヴァイオリン	2年	ケルン音楽大学		0
二瓶 真悠	ヴァイオリン	2年	ベルリン芸術大学		0
八木 瑛子	フルート	2年	ジュネーヴ高等音楽院		0

b. 2017年度助成対象者4名のうち3名

助成額合計 300万円 未払助成金合計 0万円 (敬称略)

氏 名	専 攻	期 間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
松原 みなみ	声楽	2年	ウィーン国立音楽大学	4月(100)	0
今田 篤	ピアノ	2年	フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽・演劇大学 ライプツィヒ	5月(100)	0
坪井 夏美	ヴァイオリン	2年	ウィーン市立芸術音楽私立大	4月(100)	0
中島 諒	サクソフォン	2年	ベルサイユ地方音楽院		0

c. 2018年度助成対象者5名のうち4名

助成額合計 500万円 未払助成金合計 500万円 (敬称略)

氏 名	専 攻	期 間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
高橋 維	声楽	1年	ブライト音楽院	4月(100)	0
仁田原 祐	ピアノ	2年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学	4月(100) 10月(100)	100
小林 壱成	ヴァイオリン	1年	ベルリン芸術大学大学院		0
岡本 誠司	ヴァイオリン	2年	ベルリン芸術大学	5月(100)	200
山根 一仁	ヴァイオリン	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学	8月(100)	200

d. 2019年度助成対象者4名のうち4名

助成額合計 400万円 未払助成金合計 1,200万円 (敬称略)

氏 名	専 攻	期 間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
山田 花織	声楽	2年	クラデ・イ・アバト・ミラノ市立音楽院	10月(100)	300
秋元 孝介	ピアノ	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学	10月(100)	300
小川 恭子	ヴァイオリン	2年	ウィーン国立音楽大学	1月(100)	300
田原 綾子	ヴァイオラ	2年	デトモルト音楽大学	9月(100)	300

※小川恭子さんの留学先は、ウィーン国立音楽大学へ変更。

(2) 国内音楽学生に対する奨学助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化の向上のため、将来の専門家を目指して勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給し、より一層研鑽に励めるよう支援する。

② 助成金額

指定校11校から各1名(原則3年次生以上)に対し年間30万円の奨学助成(最長2年間)を行なう。

③ 推薦受付

- ・2019年1月 7日 指定校11校に対し推薦依頼。
- ・2019年5月10日 推薦受付を締め切り、11名の推薦を受け付け。

④ 選考経過

- ・5月22日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金受給候補者として11名を選定。5月27日開催の第1回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2019年度助成実行状況

- ・指定11校から推薦された3年次生以上の学生各1名を助成対象とし、年間30万円(上期・下期各15万円)を支給。
- ・2019年度助成対象決定者 11名 助成決定額 600万円 (敬称略)

氏 名	在籍大学(推薦校)	専 攻	学 年
野村 洸太郎	東京藝術大学	指揮	3年
杉内 亜有美	愛知県立芸術大学	声楽	4年
大槻 夏子	京都市立芸術大学	ピアノ	3年
吉田 七星	沖縄県立芸術大学	ピアノ	3年
堀之内 千紘	武蔵野音楽大学	ピアノ	4年
上村 誠一	国立音楽大学	声楽	3年
菊野 凜太郎	桐朋学園大学	ヴァイオリン	3年
大高 レナ	東京音楽大学	声楽	3年
黒木 雪音	昭和音楽大学	ピアノ	3年
呼野 阿美香	洗足学園音楽大学	電子オルガン	3年
井谷 珠綺	大阪音楽大学	ヴァイオリン	3年

・ 2019年度助成実行状況 合計20名

支払額合計 600万円 未払金額合計 270万円 (敬称略)

決定年度	氏 名	在籍大学	専 攻	実行月(金額:万円)	未払額
2018	神谷 俊輝	愛知県立芸術大学	作曲	5月(15) 10月(15)	0
〃	陶山 咲希	京都市立芸術大学	ファゴット	5月(15) 10月(15)	0
〃	小嶺 たか代	沖縄県立芸術大学	チューバ	5月(15) 10月(15)	0
〃	高橋 大季	国立音楽大学	作曲	5月(15) 10月(15)	0
〃	黒田 哲平	桐朋学園大学	ピアノ	5月(15) 10月(15)	0
〃	井上 知里	東京音楽大学	声楽	5月(15) 10月(15)	0
〃	郡司 菜月	昭和音楽大学	ヴァイオリン	5月(15) 10月(15)	0
〃	長島 彩	洗足学園音楽大学	声楽	5月(15) 10月(15)	0
〃	吉村 茉莉亜	大阪音楽大学	ピアノ	5月(15) 10月(15)	0
計	9名			270万円	0万円
2019	野村 洸太郎	東京藝術大学	指揮	7月(15) 10月(15)	30
〃	杉内 亜有美	愛知県立芸術大学	声楽	7月(15) 10月(15)	0
〃	大槻 夏子	京都市立芸術大学	ピアノ	7月(15) 10月(15)	30
〃	吉田 七星	沖縄県立芸術大学	ピアノ	7月(15) 10月(15)	30
〃	堀之内 千紘	武蔵野音楽大学	ピアノ	7月(15) 10月(15)	0
〃	上村 誠一	国立音楽大学	声楽	7月(15) 10月(15)	30
〃	菊野 凜太郎	桐朋学園大学	ヴァイオリン	7月(15) 10月(15)	30
〃	大高 レナ	東京音楽大学	声楽	7月(15) 10月(15)	30
〃	黒木 雪音	昭和音楽大学	ピアノ	7月(15) 10月(15)	30
〃	呼野 阿美香	洗足学園音楽大学	電子オルガン	7月(15) 10月(15)	30
〃	井谷 珠綺	大阪音楽大学	ヴァイオリン	7月(15) 10月(15)	30
計	11名			330万円	270万円
合計	20名			600万円	270万円

(3) 日本音楽コンクールへの助成

「日本音楽コンクール」(主催:毎日新聞社/日本放送協会)の運営協力のための助成

- ・作曲部門最優秀者への寄託賞(明治安田賞50万円)贈呈

<結果> 第88回日本音楽コンクール作曲部門結果(2019年度は室内楽曲)

- ・本選会:8月22日 12作品(応募47作品) 於:毎日新聞社内
最優秀者(敬称略):第1位 松本 真結子 氏

2. 地域の伝統文化分野への助成 ～地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成～

① 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を行なう。

② 助成対象

- ・地域の民俗芸能(民俗行事・民俗音楽を含む)の継承、後継者育成のための助成
- ・地域の民俗技術(伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む)の継承、後継者育成のための助成

③ 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円を限度とし、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を行なう。

④ 公募関係

- ・公募時期:2018年11月5日～2019年1月31日
- ・告知の方法:都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミ宛にニュースリリースを発送。

・ 応 募 数

年 度	区 分	申込件数	(申込都道府県数)
2019	民 俗 芸 能	1 1 8	4 5
	民 俗 技 術	8	8
	合 計	1 2 6	延べ4 5
(参考)2018 年度応募状況		1 4 2	延べ4 0

⑤ 選考経過

2月21日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補42件を選定。

年 度	区 分	件 数	助成金額
2019	民 俗 芸 能	3 9	1, 7 3 6 万円
	民 俗 技 術	3	1 1 4 万円
	合 計	4 2	1, 8 5 0 万円
(参考)2018 年度助成状況		4 3	1, 8 5 0 万円

⑥ 2019年度助成実行状況

- ・ 都道府県別に最寄りの明治安田生命保険相互会社管下の各支社において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録の贈呈を行なった。なお、助成金は、助成金目録の贈呈後、対象者が希望する月に支給した。

・ 助成実行状況

助成実行件数合計 42件

助成実行額合計 1, 8 5 0 万円

a. 民俗芸能 39件 1, 7 3 6 万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
青森県	八戸市立島守小学校神楽クラブ	1 0	愛知県	勝幡おこわまつり保存会	2 0
岩手県	八幡大神楽保存会	5 0	愛知県	下門祭礼保存会	7 0
宮城県	秋保神社神楽保存会	3 7	愛知県	鳥原歌舞伎愛好会	6 0
秋田県	大湯大太鼓保存会	2 5	三重県	五ヶ所浦区	4 5
秋田県	仙道番楽保存会	2 0	滋賀県	古屋六斎念仏踊保存会	3 6
山形県	鍋田念佛講保存会	5 5	大阪府	中佐備町会	6 4
茨城県	古河神楽保存会	4 0	兵庫県	下浜三番叟保存会	7 0
栃木県	大神神社神楽保存会	5 0	奈良県	紅しで踊り保存会	5 0
群馬県	市祇園囃子保存会	7	鳥取県	逢束盆踊り保存会	3 2
埼玉県	戸口囃子会	6 5	島根県	土江子ども神楽団	6 0
埼玉県	武甲山御嶽神社里宮太々神楽保存会	3 0	徳島県	七成会	6 0
埼玉県	諏訪万作保存会	1 5	愛媛県	下吾川獅子舞保存会	6 0
千葉県	岩沼の獅子舞保存会	6 0	高知県	大谷花取踊保存会	5 0
東京都	檜立太鼓会	1 5	福岡県	沼楽保存会	5 0
富山県	広野自治会	3 0	佐賀県	龍宿浦面浮立保存会	6 0
石川県	川尻会 獅子舞響	4 5	長崎県	狩立オネオンデ保存会	3 0
福井県	高浜七年祭保存会	6 0	大分県	玖珠神楽 神祇社	6 5
山梨県	小伏獅子舞保存会	3 5	宮崎県	小川神楽保存会	6 0
長野県	根神社式三番叟保存会	6 0	沖縄県	志多伯獅子舞棒術保存会	6 0
静岡県	伊豆島田区不動尊講	2 5			

b. 民俗技術 3件 1 1 4 万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
岐阜県	杉山 是清 氏	3 9	長崎県	島原木綿織保存会	3 5
山口県	末田焼物の里保存会	4 0			

3. 機関誌の発行

- ・ 音楽分野『いい人・いい音』2020年1月発行（1, 3 0 0 部）
- ・ 伝統文化分野『地域の伝統文化』2019年11月発行（4, 0 0 0 部）

(参考) 年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

[金額単位：万円]

年度		音 楽 分 野					伝 統 文 化 分 野			金額計
		日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽計	民俗芸能	民俗技術	伝統 文化計	
1991 ～ 2000	申込	10	240	876	100	1,226	1,234	90	1,324	69,894
	決定	10	37	56	100	203	367	52	419	
	金額	5,500	3,590	25,650	9,460	44,200	23,610	2,084	25,694	
2001	申込	1	13	91	10	115	131	11	142	7,340
	決定	1	1	6	10	18	42	8	50	
	金額	550	60	2,770	960	4,340	2,740	260	3,000	
2002	申込	1	12	104	10	127	130	15	145	7,570
	決定	1	2	7	10	20	38	10	48	
	金額	550	120	2,860	1,040	4,570	2,590	410	3,000	
2003	申込	1	—	102	10	113	111	4	115	4,010
	決定	1	—	5	10	16	33	2	35	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,590	60	1,650	
2004	申込	1	—	85	10	96	112	11	123	4,010
	決定	1	—	5	10	16	31	5	36	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,525	125	1,650	
2005	申込	1	—	87	10	98	139	3	142	4,010
	決定	1	—	6	10	17	37	0	37	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,650	0	1,650	
2006	申込	1	—	86	10	97	113	10	123	4,246
	決定	1	—	6	10	17	35	2	37	
	金額	50	—	2,000	450	2,500	1,666	80	1,746	
2007	申込	1	—	99	10	110	152	10	162	4,270
	決定	1	—	5	10	16	37	2	39	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,780	70	1,850	
2008	申込	1	—	88	10	110	129	5	134	4,270
	決定	1	—	5	10	16	39	1	40	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,810	40	1,850	
2009	申込	1	—	77	10	88	137	7	144	4,240
	決定	1	—	6	10	17	38	4	42	
	金額	50	—	1,800	540	2,390	1,740	110	1,850	
2010	申込	1	—	94	10	105	139	5	144	4,210
	決定	1	—	5	10	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,735	115	1,850	
2011	申込	1	—	81	10	92	172	3	175	4,440
	決定	1	—	6	10	17	41	1	42	
	金額	50	—	2,000	540	2,590	1,814	36	1,850	
2012	申込	1	—	77	11	89	187	7	194	4,557
	決定	1	—	4	11	16	48	6	54	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	2,122	185	2,307	
2013	申込	1	—	81	11	93	160	8	168	4,040
	決定	1	—	5	11	17	40	2	42	
	金額	50	—	1,600	540	2,190	1,775	75	1,850	
2014	申込	1	—	87	11	99	171	5	176	4,120
	決定	1	—	6	11	18	41	3	44	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	1,802	98	1,900	
2015	申込	1	—	80	11	92	155	9	164	4,500
	決定	1	—	6	11	18	40	4	44	
	金額	50	—	2,000	600	2,650	1,746	104	1,850	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	78	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
累 計	申込	29	265	2,443	298	3,035	3,897	226	4,123	156,327
	決定	29	40	157	298	524	1,109	113	1,222	
	金額	7,450	3,770	61,280	20,880	93,380	58,817	4,130	62,947	

Ⅱ. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2020年3月31日現在

役 名	氏 名	就任年月日	担当職務	略 歴	備 考
理 事	関口 憲一	2018/06/20	理事長(非常勤)	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
理 事	壁谷 章可	同	専務理事(常勤)	当財団事務局長	2017/06/01
理 事	醬油 和男	同	理事(常勤)	当財団前専務理事	2016/06/14
理 事	小島 美子	同	非常勤	国立歴史民俗博物館名誉教授	2012/04/01
理 事	竹内 彰雄	同	同	片倉工業株式会社顧問	2016/06/14
理 事	丹羽 正明	同	同	音楽評論家	2012/04/01
理 事	平出 功	同	同	T P R株式会社相談役	2010/06/23
理 事	深澤 正宏	同	同	安田不動産株式会社相談役	2009/03/10
理 事	星野 紘	同	同	全日本郷土芸能協会理事長	2009/06/04
監 事	小林 光男	2016/06/14	非常勤	株式会社大気社元常勤監査役	2001/06/14
監 事	白井 道昭	2019/06/17	同	明治安田生命保険(相)関連事業部長	2019/06/17
評議員	朝岡 康二	2016/06/14	—	沖縄県立芸術大学元学長	2008/03/10
評議員	海老澤 敏	同	—	国立音楽大学名誉教授	2012/04/01
評議員	小塩 節	同	—	中央大学名誉教授	2012/04/01
評議員	鈴木 伸弥	同	—	明治安田生命保険(相)取締役会長代表執行役	2014/06/10
評議員	田中 宏	同	—	株式会社クレハ相談役	2014/06/10
評議員	遠山 敦子	同	—	公益財団法人トヨタ財団顧問、元文部科学大臣	2012/04/01
評議員	根津 嘉澄	同	—	東武鉄道株式会社取締役社長	2010/06/03
評議員	松尾 憲治	同	—	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
評議員	山折 哲雄	同	—	宗教学者	2012/04/01
評議員	渡辺 行信	同	—	当財団元専務理事	1997/06/10

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

2. 選考委員に関する事項

2020年3月31日現在

(1) 音楽分野

役名	氏 名	就任年月日	略 歴	備 考
選考委員長	丹羽 正明	2018/04/01	音楽評論家	1991/06/23
選 考 委 員	植田 克己	同	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2000/04/01
選 考 委 員	金 昌国	同	フルーティスト・東京藝術大学名誉教授	2007/04/01
選 考 委 員	多田羅迪夫	同	声楽家・東京藝術大学名誉教授	同
選 考 委 員	徳永 二男	同	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特任教授	1991/06/23
選 考 委 員	沼野 雄司	2019/04/01	桐朋学園大学・大学院教授	2019/04/01
選 考 委 員	渡辺 行信	2018/04/01	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

(2) 伝統文化分野

役名	氏 名	就任年月日	略 歴	備 考
選考委員長	小島 美子	2018/04/01	国立歴史民俗博物館名誉教授	1991/06/23
選 考 委 員	天野 武	同	儀礼文化学会名誉会員	同
選 考 委 員	田中 宣一	同	成城大学名誉教授	同
選 考 委 員	田村善次郎	同	武蔵野美術大学名誉教授	同
選 考 委 員	西角井正大	同	国立劇場おきなわ運営財団理事	1995/06/06
選 考 委 員	星野 紘	同	全日本郷土芸能協会理事長	2014/04/01
選 考 委 員	渡辺 行信	同	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

3. 職員に関する事項

2020年3月31日現在

役名	氏 名	就任年月日	担当職務	備考
専務理事	壁谷 章可	2017/04/01	事務局長	明治安田生命保険(相)より出向
常勤理事	醬油 和男	2016/06/14	業務企画、渉外	
主幹	山内 彰	2010/01/01	事務局長所管業務補佐	
主任	金子 悦子	2007/01/01	会計・総務	

4. 会議等開催に関する事項

(1) 理事会

開催日	出席等	議 事 事 項	会議の結果
2019 年 5 月 27 日	決議に必要な出席 理事の数 5 名 出席 8 名 欠席 1 名 監事出席 1 名	・ 2018 年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・ 2018 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・ 2019 年度音楽分野助成対象の件 ・ 専務理事(業務執行理事)選定の件 ・ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ・ 職務執行状況報告	原案どおり可決 同上 同上 同上 同上
2020 年 3 月 16 日	決議に必要な出席 理事の数 5 名 出席 7 名 欠席 2 名 監事出席 2 名	・ 「定款」変更の件 ・ 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改正の件 ・ 2020 年度事業計画、収支予算等承認の件 ・ 2020 年度地域の伝統文化分野助成対象の件 ・ 選考委員全員任期満了に伴う改選の件 ・ 職務執行状況報告	原案どおり可決 同上 同上 同上 同上

(2) 評議員会

開催日	出席等	議 事 事 項	会議の結果
2019 年 6 月 17 日	決議に必要な出席 評議員の数 6 名 出席 10 名 欠席 1 名 監事出席 2 名	・ 2018 年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・ 2018 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・ 監事 1 名選任の件 ・ 報告事項（2019 年度事業計画・収支予算、2019 年度伝統文化分野助成対象、2019 年度音楽分野助成対象について）	原案どおり可決 同 上 同 上

(3) 選考委員会

① 音楽分野

開催日	内 容
2019 年 4 月 24 日	・ 2019 年度申込者の第 1 次選考審査会(書類および録音資料審査)を明治安田生命新宿ビル会議室にて実施。 ・ 第 1 次審査通過者として 16 名を選定。

2019 年 5 月 22 日	・第 2 次選考審査会（実技および面接審査）を東京オペラシティリサイタルホールで実施。 ・2019 年度海外研修助成対象候補者として 4 名を選定。 ・主要 11 音楽大学から推薦された 11 名を 2019 年度国内音楽学生奨学金受給対象候補者として承認。
2019 年 10 月 1 日	・2020 年度公募方針ならびに申込要領の内容を日本工業倶楽部にて検討。

② 伝統文化分野

開催日	内 容
2019 年 9 月 12 日	・2020 年度公募方針ならびに申込要領の内容を明治安田生命新宿ビル会議室にて検討。
2020 年 2 月 25 日	・2020 年度申込の選考委員会（書類および写真審査）を明治安田生命新宿ビル会議室にて実施。 ・助成対象候補先として、民俗技術 3 件、民俗芸能 39 件を選定。

(4) 監事による監査

開催日	内 容
2019 年 4 月 18 日	・小林監事ならびに浅野監事による 2018 年度決算監査を実施。
2019 年 11 月 13 日	・小林監事ならびに白井監事による 2019 年度中間監査を実施。

5. 主務官庁等に関する事項

- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 22 条第 1 項の規定に基づき、2018 年度事業報告等について、2019 年 6 月 26 日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づき、監事の辞任に伴う後任者の選任、さらに評議員の辞任に伴う変更届出書について、2020 年 1 月 22 日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 27 条第 1 項及び第 59 条第 1 項の規定に基づく立入検査が実施されたが指摘事項はなかった。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 22 条第 1 項の規定に基づき、2020 年度事業計画等について、2020 年 3 月 27 日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

該当事項なし。

7. 寄付金に関する事項

寄 付 者	領収金額
明治安田生命保険相互会社	2,400 万円

8. リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

	発生件数	累 計	対前年増減	備考（傾向と対策）
コンプライアンス違反懸念	0 件	0 件	0 件	—
情報漏洩懸念	0 件	0 件	0 件	—
事務・システムリスク等	0 件	0 件	0 件	—
うち重大事務リスク該当件数	0 件	0 件	0 件	—

苦情・相談	0 件	0 件	0 件	—
-------	-----	-----	-----	---

(2) 主務官庁の立入検査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称（監査実施年度）	指摘事項	前回指摘の改善状況
内閣府：立入検査(2020.02.03)	なし	—

(3) リスク管理方針重点実施事項の取組み状況【2019 年度】

	取組み状況
顧客情報管理の徹底	情報保護に関する研修会実施、保存期間経過情報のシュレッダー廃棄
手順・解説書の整備	4 月改訂：災害対策手順・解説書 7 月改訂：コンプライアンスマニュアル 10 月改訂：情報システム開発・運用マニュアル 1 月改訂：取引先属性の事前点検に関する手順・解説書 財団会計手順・解説書

(4) 方針・規程等の整備状況

制定、改正した方針・規程等

(4 月) コンプライアンス基本方針、危機管理基本方針、コンプライアンス基本規程
不祥事故対応規程、情報管理規程、特定個人情報管理細則、贈収賄防止規程
贈収賄防止細則、防犯および反社会的勢力対応規程、危機管理規程、就業規
則、職員育児休職規程、職員介護休職規程、

(7 月) 役員服務内規、リスク・コンプライアンス違反等に関する管理報告ルール

(8 月) 給与規程

(10 月) システムリスク管理規程、情報管理細則、特定企業選定基準、
贈収賄防止細則

9. 反社会的勢力への対応状況

(1) 新規助成申込者に関する属性点検実施状況（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

区 分	全取引数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
		うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約			うち、代表者名	うち、個人契約		
特定外部委託 契約締結先	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件		
その他外部委託・一般契約 締結先	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件		
その他取引先等 (助成申込先:注)	213 件	0 件	75 件	75 件	350 件	138 件	75 件	懸念先なし	

(注) 対象は 2019 年度海外音楽研修費用助成申込および国内音楽学生奨学金助成新規分ならびに 2020 年度地域文化助成申込分

(2) 既取引先の属性点検実施状況（2020 年 3 月末現在）

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
		うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約			うち、代表者名	うち、個人契約		
(注 1) 特定外部委託 契約締結先	3 件	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件		
(注 2) その他外部委託・一般契約 締結先	4 件	1 件	0 件	6 件	6 件	3 件	0 件	懸念先なし	
(注 3) その他取引先等	17 件	0 件	17 件	17 件	17 件	0 件	17 件	懸念先なし	

(注 1) 特定外部委託：明治安田生命本体および明治安田生命関連会社との委託契約

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャノンマーケティングジャパン社（キャノンコピー機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）
- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）

(注3) その他取引先等：

- ・2016年度、2017年度、2018年度決定海外音楽研修生継続助成者
- ・2018年度決定国内音楽大学助成者

(3) 反社条項導入状況（2020年3月末現在）

有効契約数	反社条項 導入要契約	反社条項 導入完了契約	完了率	完了予定
4 件	4 件	4 件	100%	

(4) 反社情報の明治安田生命への連携状況

報告年月日	報告内容	明治安田生命との連携状況
	該当なし	

Ⅲ. 2020年度のリスク管理の取組み

1. 重要リスクの特定

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. 報告不全によるリスク増大	・「法令順守・リスク管理委員会」による検証	・四半期ごとに内部管理事項を確認
2. リスク削減プロセスの欠如	・「経営チェックリスト」を活用した毎月の点検	同上
3. 大規模な自然災害等	・「危機管理規程」の実効性検証（チェックリスト）	・「チェックリスト」の妥当性検証
4. 安全配慮義務への対応不十分	・適切な勤務管理と健康経営の推進	・「個人勤務票」の検証と「銀の認定」の取得
5. 大規模な個人情報漏洩	・「情報保護推進委員会」による検証と実査	・「経営チェックリスト」を活用した自己点検
6. 基本財産の減少	・元本毀損リスクのある上場 REIT の相場を注視	・チャートの作成し、毎月理事長に報告

2. リスク管理の重点実施事項

リスク管理規程に基づき、2020 年度のリスク管理の重点実施事項を以下のとおり定める。

1. 諸規程・ルールの見直し

公益認定等ガイドライン等をふまえたリスク関連の諸規程、ルール、方針等を見直しによりリスク管理態勢の高度化を推進する。

2. リスク管理推進委員会の定期的開催と理事会等への報告

リスク管理状況については、「経営チェックリスト」等の内部管理自己点検の結果を基本に、定期的にリスク管理推進委員会に報告するとともに課題の解決策を講じる。また、理事会等へ報告する。

3. 基本財産の運用に関するモニタリング強化

資産運用リスクに対応するため、毎日の市場価格を確認・検証等を行なう。毎月、その結果を理事長へ報告するとともに、全役職員を対象に教育・研修・情報交換を実施し、リスク管理が経営の健全性に与える重要性を徹底する。

4. 「経営チェックリスト」および「リスク管理シート」等による内部管理自己点検の実施

業務の健全性とガバナンスの適切性を確保するため「経営チェックリスト」による内部管理自己点検を年一回以上実施する。なお重要度が高い業務にかかる事項は毎月実施する。また、会社の重要な固有リスクの管理態勢を強化するため「リスク管理シート」等による内部管理自己点検を年二回以上実施する。なお、重要なリスク管理の取組みについては半期毎に自己点検を実施する。

5. リスク等発生時のレポートラインの整備と徹底

「リスク・コンプライアンス違反等に関する管理・報告ルール」および「お申し出に関する管理・報告ルール」を周知徹底し、リスク等発生時には迅速な情報の収集によりリスクの伝播を防止し、発生原因の分析、再発防止策の策定・実施を行なう。

6. 個人情報保護への継続的な取り組み

助成申込者および財団役員等からお預かりした個人情報、個人番号および特定個人情報を大切に保護・管理するために、個人情報保護法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律をはじめとする関係法令および社内規程等の遵守の重要性を周知・徹底するとともに、さまざまな安全管理措置等の適切な取扱い等を徹底し、情報漏洩の発生原因を徹底的に排除した態勢を整備する。

7. システムリスク・セキュリティにかかる取り組み

保有・利用する情報システムにおいて、以下の各号のとおりシステムリスク管理態勢の整備を推進する。

あわせて、全役職員を対象に情報システム利用マニュアルの周知徹底を図る。

- (1) システムの品質確保に向け、必要な要件がシステムに正しく反映されていることを、システム稼働前に確認する
- (2) システムのセキュリティの確保に向け、必要なセキュリティ対策が取られていることを、システム稼働前および定期的に確認する
- (3) 社外メール・インターネットを通じた外部攻撃（ウィルス感染、サイバー攻撃等）の危険を認識し、システムの安全利用に努める

8. 業務運営に係る手順・解説書の整備

助成事業を中心とした業務運営に関し、引き続き手順・解説書の整備に努め、潜在リスクの把握およびリスク発生防止策を講じる。

附属明細書

2019年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。